

ウォッシュアウト期間ってなに？

糖質コルチコイド使用法が大幅変更

アスリートの医薬品使用のルールブックとも言える禁止表国際基準（2022年版）が1月1日に世界アンチドーピング機構（WADA）にて発効されました。

2022年禁止表の中でも糖質コルチコイド（副腎皮質ホルモン：俗に**ステロイド**とも呼ぶ）における変更内容についてお話しします。

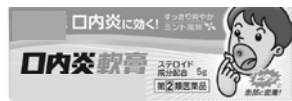
糖質コルチコイドは、これまで許可されていたものが禁止されるなど怪我をした時、医療機関へ受診した際に必要になる手続きです。必ず確認するようにしましょう。

【変更事項】

糖質コルチコイドは競技会（時）のみ禁止される物質ですが、アレルギーやアナフィラキシーショック、気管支ぜん息、炎症性腸疾患などの治療薬として幅広く利用されることがあるため、アスリートが体に取り入れる可能性が非常に高い物質です。

2021年禁止表では、経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用が禁止されていました。つまり、口腔粘膜（口腔内（頬）、歯肉内、舌下等）は使用可能でしたが、2022年からは**全て禁止**されます。例えば、口内炎などで口腔粘膜に使用することは禁止されますの

で、市販品の口内炎治療薬などを安易に使用しないで下さい。



次に、注射使用はどの投与部位（経路）であっても全て禁止されます。これまで許可されていた、関節周囲、関節内、腱周囲、腱内、硬膜外、髄腔内、滑液嚢内、病巣内（ケロイドなど）、皮内及び皮下の注射も全て含まれます。

【ウォッシュアウト期間】

ウォッシュアウト期間とは体内に吸収された薬物がほぼ全て排出される期間を示します。ただし薬物の代謝能力は個人差がありますが、アスリートは糖質コルチコイドを投与した時点から競技会時の開始時点までに、最低限このウォ

ッシュアウト期間を遵守するべきであると示されています。

しかし、このウォッシュアウト期間は薬物が完全に排出されることを保証するものではありません。使用状況によって治療使用特例（TUE）の手続きで対応してください。

このウォッシュアウト期間は2022年禁止表「主要な変更の要約と注釈」において投与経路と糖質コルチコイドの物質ごとに期間が示されています（表1）。この情報をもとに**医師や薬剤師の専門家と必ず確認**するようにしてください。

表1 糖質コルチコイドウォッシュアウト期間

経路	糖質コルチコイド	ウォッシュアウト期間
経口（口腔粘膜、口腔（頬）、歯肉、舌下投与含む）	すべての糖質コルチコイド	3日
	但し、トリアムシノロンアセトニド	30日
筋肉内	ベタメタゾン、デキサメタゾン、メチルプレドニゾロン	5日
	プレドニゾロン、プレドニゾン	10日
	トリアムシノロンアセトニド	60日
局所（関節周囲、関節内、腱周囲、腱内）	すべての糖質コルチコイド	3日
	但し、トリアムシノロンアセトニド、プレドニゾロン、プレドニゾン	10日

注：ウォッシュアウト期間は、特定の競技についてWADAが異なる期間を承認している場合を之時期、競技者が参加する予定の競技会の前日の午後11時59分に開始をいう。

【アッ！使っちゃった！】

使ってしまったらしかたありません。以下の対応が考えられます。

1. 競技会（時）の使用

TUEが必要：アスリートカテゴリーに従い、すぐに申請

2. ウォッシュアウト期間の使用

TUEが必要なことがある：競技会（時）ドーピング検査から検出された場合、遡及的申請が必要（医療情報を用意しておく）

3. ウォッシュアウト期間以外の使用

TUEが必要となる可能性が低い：競技会（時）ドーピング検査から検出された場合、遡及的申請が必要（医療情報を用意しておく）

いずれにしても、TUE申請がいつでも対応できるよう医療記録の保持や提供への協力関係を医療従事者と保つことが大切です。